

高久美浜 同窓会報

発行
久美浜高校同窓会
会報編集委員会

TEL 0772(82)0069
FAX 0772(82)0690
URL <http://www.kyoto-be.ne.jp/kumihama-hs/>



ごあいさつ

同窓会長 岡 眞子

(高7回・昭和30年卒)

会員の皆様には、ますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。日頃は同窓会活動に対して深いご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。1902年に創立された我が久美浜高校も108年という歴史を積み重ね、その卒業

生も13,000人を数え、さまざまな分野でご活躍されております。そのような会の会長を賜ったことは私にとっても光栄なことでした。本年度同窓会事業として久美浜高校ゆかりの方をお招きし講演会を開催したところ、多数の方にご出席していただき好評を得ることができました。

近年では少子高齢化が叫ばれる中、学校の様子も変わり、同窓会の役割も今まで以上に大きくなり、単なる会員相互の交流の場だけではなく、地域に密着した交流の場としての役割を果たせたことをとても嬉しく思っています。

先日、とある方より「久美高の生徒はすごいねえ」といわれ、その内容を聞くと、「クラブ活動で校外をランニング中の生徒が、道端に落ちていた空き缶を拾いそのまま走っ

て学校に帰って行ったのを通りがかりに偶然目にした。」というものでした。きっと、この生徒の中では何気ない普通のことだったかもしれないせん。とても些細なできごとですが、これも同窓会員や地域の方々にご協力いただいて取り組んできた学校とのかかわりの中で生まれた宝物の一つだと思えます。

物質面では大変豊かになった時代ではありますが、こういった心の豊かさも大事にしたいと考えます。このような生徒がいる母校を大切に、同窓会として一層充実、発展するよう応援していくことが大切だと思っています。

会員の皆様におかれましても、さらなるお力添えとご協力を賜りますようお願いいたします。

最後にになりましたが、一年の7月に会長の重責を賜りましたが、この間皆様方から

いただきましたご厚情により無事、務めさせていただきましたことを感謝しご挨拶とさせていただきます。

会員の皆様の 更なる御支援を!

校長 小田 滋夫

(高22回・昭和45年卒)



同窓生の皆様におかれましてはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、

本校の教育活動の推進に対して、御理解と御協力をいただきましてありがとうございます。心からお礼申し上げます。さて、私は今年4月の人事異動により、第27代京崎秀樹校長の後任として着任しました。今年3年目になります増馬宗男副校長、私と一緒に着任しました岡田佳之事務長共々、本校の同窓生として、本校発展のために寄与する所存です。どうぞよろしくお願ひします。

本校は総合学科に改編してすでに13年目を迎えます。現在、文理特修、教養、福祉、生産科学の4系列でそれぞれの特色を生かし、生徒の育成に力を注いでおります。各系列とも総合学科のメリットを最大限に活用して、少人数講座で、生徒1人1人の進路希望の実現のために、それぞれの希望やニーズに応じたきめの細かい学習活動を展開しております。中でも福祉系列は設置以来、介護福祉士の国家試験については、毎年100%に近い生徒が合格を果たし、卒業生は超高齢化の進む北近畿一円の特養施設において主力として、献身的な仕事を続けております。また、生産科学

系列は「久美農」の歴史と伝統を誇り、丹後地域の農業後継者の育成に向けて努力をしております。小規模校で全校275名と少人数ではありますが部活動も活性化し、カヌー部は今年度も千葉国体に3名、沖縄インターハイに11名の選手団を派遣し、インターハイでは、男子K4が準優勝の栄冠に輝きました。陸上部では両丹ジュニア陸上競技対校選手権で女子が総合3位に入賞するなど健闘しております。また、今年度は長年にわたって、生産科学系列、農業クラブなどを中心に学校全体で取り組んできた環境教育の実績が評価され、京都府知事賞を受賞する榮譽に浴しました。

しかし、府北部の少子高齢化の波は、加速度的に高まり、学校の将来に関わっても予断を許さない状況です。教職員が丸となって、日々、生徒の指導・育成に専心しております。同窓生の皆様の更なる御理解と御支援をいただきますようお願いいたします。

末筆ではありますが、朝夕の冷え込みがめつきり厳しくなりました。会員の皆様におかれましてはどうぞ御自愛いただきますようお願いいたします。

支部だより

東京支部

「ふるさとを思いながら」

東京支部 中道 輝美 (15期生)

6・7年前から年に数回久美浜に帰郷しています。通学途中の子供たちが顔を見ると大きな声で「おはようございます」と挨拶してくれます。毎回心温まっています。久美浜の人と人とのつながりを肌で感じ故郷の温かさを誇りに思っています。

5月29日の東京久美浜会総会・懇親会には小田滋夫校長・岡眞子同窓会長・米田保副市長をお招きし、京丹後市の関係者、東京に住む久美浜出身者とその家族の人達が原宿に集いました。日常の話から一気に故郷久美浜の話題で盛り上がりました。いろいろ話をしていると

参加者全員が親戚になりそうなくらいにおしゃべりが弾み、楽しい時間と元気を取り戻す総会でもありました。また、久美浜の近況等も聞かせてもらうチャンスでもあり、久美浜の人ともっと交流を深めたいと思っています。たとえば、合同企画を立て団体で帰郷したり、あるいは東京に来ていただきたいなどと思っています。



第32回 東京久美浜会 2010年5月29日 南国酒家 原宿店

す。10月に帰郷したときには岡会長にお会いし、お話をさせてもらいました。これから東京久美浜会の幹事会でも企画を提案したいと考えています。

久美浜の皆さん、一緒に東京見物しましょう！その時には是非スカイタワーを見に来てください。お待ちしております。

京都支部

久美浜高校同窓会

京都支部の活動紹介

京都支部 事務局 山口 清史

毎年恒例となっている建国記念の日に開催されている京都支部総会は、今年で25回目となり四半世紀目の節目の回となりました。これまで支部の立ち上げから御尽力戴きました役員様や例年欠かさず御出席戴いている会員の皆様に本誌面をお借りして御礼申し上げます。

第25回総会は、岡同窓会長・京崎校長から久美浜高校の地元学生が少なくなってきた現在の現状など、また本校出身の米田京丹後市副市長からの状況や京都支部の更なる発



部長に古村義實新支部長が選任され、本支部の継続・発展に向けての決意表明がされました。

京都支部は、京都市をはじめとして関西一円の同窓生を対象として、毎年2月11日に総会を開催しておりますので、若い年代の方々も本支部総会をクラス会代わりとして利用戴くなど、是非、多数の御出席を戴きますようお願い申し上げます。

また、吉谷支部長の逝去に伴い不在となりました支部

京都支部連絡先：077-574-0721 (山口)まで

神会 阪美 京久

第8回京阪神久美浜会総会・懇親会を開催!

京阪神久美浜会 事務局 藤原 俊文

時あたかも松葉ガニ漁が解禁された11月6日に、久美浜町出身者で京阪神に居住する会員が年に一回集う総会・懇親会を開催しました。

ご来賓の小田滋夫校長には、高校教育の現状や全国総体で力ヌー競技部の立派な活躍と創立108年を迎える歴史と伝統ある創立記念の様子を報告して頂きました。本年4月に着任されたところで

すが、ご出身の佐野甲の会員をはじめ、お知り合いのメンバーも多く、親しくお話をし、懐かしく思い出していました。同窓会の岡会長には、懇親

会の冒頭と同窓会の活動状況についてお話を頂きました。総合学科に改編されて12年を経過、同窓生13,000名を超える歴史と伝統のある母校の同窓会活動について伺いました。今後共、京阪神久美浜会との連携を大切にしたい、と協力のお願いがありません。



いる等についてご報告して頂きました。

京丹後市の会計管理者和田道雄様は、永留のご出身で挨拶と乾杯の音頭をお願いしました。京丹後市からは諸事業の資料をお持ち頂き、多くの情報を提供して頂きました。

ご来賓の皆様温かいお話を聞き、故郷「久美浜」の発展のために少しでもお役に立てるように、と会員一同また新たな気持ちで郷里に関心を持つと決意しました。

今回は、懇親会で中森万美子様のシャンソンライブをお聞きし、秋の京都でワインを片手に会員一同、すばらしいひと時を過ごすことができました。

来年は、10月29日(土)に「ホテル日航プリンセス京都市」で開催を予定しています。皆様の多数のご参加をお待ちしています。



坂東 美紀 氏

平成22年度 同窓会講演会

講師 坂東 美紀 氏
(京都府教育庁指導部保健体育課指導主事)

去る、6月26日(土)午後7時30分より同窓会恒例の講演会を久美浜市民局にて実施しました。

講演に先立ち、開会の挨拶を岡眞子会長と顧問小田滋夫校長の両氏が日頃の同窓会活動・久美浜高校へのご理解とご支援に対してお礼を述べられました。

講師は今年3月まで久美浜高校で保健体育科教諭としてお世話になりました坂東美紀先生(京都府教育庁指導部保健体育課指導主事)をお迎えし「カヌーが世界を広げてくれた」と題し講演していただきました。

講演では、先生がカヌーを始められたきっかけから、久美浜町との出会い、そしてカヌー部の立ち上げなど26年間を振り返っていただきました。特に京都国体では、地域の方々の理解や応援していただくまでのご苦勞が思い出され、思わず声を詰まらせておられた時には、多くの

方が涙されていたように思われました。

また、長年カヌーを普及する中で自分自身や生徒、地域の方々とのエピソードなどを話していただいたり、京都国体やインターハイでの久美浜町の方々の協力に感謝されていました。先生はいつもの明るさで、冗談も交えながら話されているのが大変印象的でした。

当日は現役の高校生や子ども達、そして先生にご指導していただいたOBやOGをはじめ歴代のカヌー部親の会会員様そして坂東先生と関わりのある多くの方が参加され会場はいっぱいとなりました。

講演会終了後は坂東先生に声をかけられる方がおられ、昔を懐かしみ思い出されていました。



会場は140名余りの方で満員でした



花束の贈呈と現役カヌー部員からのプレゼント

久美高同窓会では毎年講演会を開催しています。あらゆる方面で活躍している方や、話を聞いてみたい方がありましたら、ぜひ事務局までお知らせください。(自薦他薦を問いません。)

クラス会報告

昭和31年卒

くみはま31会 (昭和31年普通科卒業) 同級会

代表幹事 小谷清太郎



昭和31年度(普通科)卒業 みなと悠悠にて 平成22年4月18日

3年に1度の割で開催されている私達くみはま31会(昭和31年普通科卒)が今年もみなと悠悠で行われました。

今回は4月という事で故郷のさくらを堪能して頂けると期待していましたが、遅咲きのさくらが私達を歓迎してくれていました。遠い所は茨城県、東京、大阪、滋賀からと24名の方々が参加して

くださり中には50数年も会っていない人もおられ当時の面影にたどりつくのがやっとなという場面もあり終始和やかに盛大に行われました。

私達の年代になるとそろそろ老化が始まり足腰が痛い、物忘れがひどくなったとかといった話題が聞かれる中で、楽しみ、悩み、恋もあつて青春真只中を共に歩んだ高校時代は、70才を越え顔も姿も変わった今でもいつの間にか当時の年令に帰って会話している同級会とは不思議なものでいつも心温まる思いがします。いつまでも健康でいてこのくみはま31会の灯を消さない様、又の再会を期して翌日は出石のチューリップ祭りや神鍋の猿尾滝を見物して帰路に着きました。



昭和42年卒

同窓会2010山梨県河口湖

昭和42年3月卒B組 本井逸子

富士山を映す湖畔の宿「湖楽おんやど富士吟景」が今回の会場です。

〈1日目〉関西方面からの参加者は新幹線で乗り合わせ、新横浜―八王子―大月―河口湖駅と乗り継いで約6時間、宿に到着。目の前の紺碧に染まる河口湖と優雅にそびえる富士山に一同大感激。記念の写真も撮りました。宴会はまるで芸術作品のような秋を彩る会席料理。名物のほうとう鍋もあり。〈2日目〉昔話「カチカチ山」、太宰治の小説「カチカチ山」の舞台となった天上山へロープウェイで。富士山を中心とした大パノラマを満喫。記念写真の数も増えました。



平成22年10月23日(土)～24日(日) 1泊2日 富士山の見える河口湖畔にて

河口湖で遊覧船に乗った後は関東在住の林さん・中地さんの車で富士五湖巡りのドライブ。本栖湖(千円札の裏面の写真)では記念の一句も。
”錦繡に 思い出紡ぐ、同窓会“
2年ぶりでしたが旧交を温めた思い出深い同窓会になりました。「次回は久美浜で！」と約束し、

名残を惜しんで解散しました。今回参加できなかった人たちに集合写真や恩師の松村茂先生の俳句を載せたはがきを送りました。

平成13年卒

3年C組 女子クラス会

クラス会幹事 13年度卒業生 森下(旧姓土井) 亜希子

初めての同窓会という事でまずクラスの女子だけでやってみようと思いましたが、私自身が4歳の子供を連れての参加しか出来なかつたので、案内状にもそのように案内し、急な誘いの中女子25名中、10名・子供5名の参加でした。遠方からの帰省・地元からの参加と色々でしたが久しぶりに会った友人はみんな相変わらずで、楽しかった高校生活を思い出して、制服を着ていた友人の母親姿になったか嬉しく不思議な気持ちでした。会話の内容は卒業後の事、近況、結婚生活の事、子供の事、と開始から最後まで途絶える事のない会話。高校生活の写真をスライドショーにしてDVDにして用意し、希望者に配布しました。あの頃みんな聞いた曲を入れて写真を見ていると本当に懐かし、またあの頃に戻りたいなあと思ったりもしました。こうやって集まると本当にあの頃、そして今も友人の支えが大きく、なんだか安心する存在なのだと思えて感じる事が出来ました。いつまでも大切な友人です。今回初めての同窓会、もちろん初めの幹事という事で手探りのクラス会でした。現在兵庫県在住



という事もあり地元在住の友人の助けも借りつつ無事終える事が出来ました。

旅館の方にも、色々とお無礼を聞いて頂き、おいしいご飯と温泉と綺麗なお部屋にみんな大満足でした。

幹事と言っているのかどうか分からない程の仕切り具合だったとは思いますが、みんなの笑顔と最後の「計画してくれてありがとう」の言葉に本当にクラス会をやって良かったと思います。みんなのあの笑顔と笑い声が聞きたくて計画したクラス会。本当に楽しかったです。

最後になりましたが、名簿購入等でお世話になった学校の同窓会担当の職員様にも感謝致します。

御寄附のお礼

同窓会東海支部(支部長 本井恭司様、会計 西川末恵様)より、同窓会の発展を願って多額の御寄附をいただきました。

心よりお礼申し上げますと共に、皆様に御披露いたします。

御寄附額 一四五、二五二円

同窓会には、京都府支部、東海支部、東京支部と京阪神久美浜会との連携という組織があり、東海支部には百名あまりの会員がおります。久美浜高校の節目に当たっては今後ともお力をお貸しいたします。

同窓会長 岡 眞子



創立110周年記念版 同窓会名簿発行のお知らせ

この度、同窓会の正式事業として名簿の発行をおこなう予定です。名簿作成における調査・編集作業は同窓会名簿専門会社であります(株)サラト(本社:兵庫県姫路市)に正式に委託しており、現在発行に向け、全ご卒業生の皆様に右記のはがきを発送し、名簿掲載内容について確認中です。ご返信・ご予約がまだの方はご協力をお願い申し上げます。

なお、ご自宅にはがきが届いていない方や、あらためて予約用振込用紙の送付をご希望の方は下記のお問い合わせ電話までご一報ください。

〈名簿発行〉

平成23年6月下旬 4,000円(送料・税込み)

〈掲載内容〉

氏(旧姓)名・現住所・TEL・勤務先・TEL

※掲載を希望されない方は、該当項目に不掲載とご記入ください。

〔確認はがき見本 表〕



〔裏〕



お問い合わせ電話 0120-953-850 受付No.110609 受付時間 9:30~16:00 (土・日・祝を除く)



体育祭



6月17日(木)体育祭を実施しました。「輝け!今の瞬間を!燃え上がれ魂よ!みなぎる久美高祭」をスローガンに各学年団結しました。



オープニングは吹奏楽部の演奏



響(吹奏楽部)のメンバーと顧問



演劇「合唱祭がなくなる日」

文化祭

吹奏楽の演奏で始まった文化祭、9月2日(木)3日(金)の2日間実施しました。各クラスの演劇・ダンス・イベント・発表・展示などを行い、また文化系クラブの発表・展示も行いました。PTAの会員さんには、2日間模擬店をお世話になり生徒達に大変好評でした。



生徒会執行部のメンバーと顧問



「KTRモザイク画」(3万5千本の爪楊枝使用)



PTAの方による模擬店

持久走



男子17.1km

10月29日(金)校内持久走大会を行いました。生徒はそれぞれの目標を胸に力走しました。今年は参加者全員が制限時間内に完走することができました。



女子14.7km

2010 クリーン作戦

9月15日(水)久美浜町内の清掃を行いました。



通学路のゴミ拾いの様子



浜公園周辺のゴミ拾いの様子





一人ずつ意見発表する生徒



手話の歌を披露

福祉まちづくり 研修会

10月30日(土)本校体育館で福祉のまちづくり研修会(主催:京丹後市社会福祉協議会)が本校体育館で開催されました。2・3年生福祉系列の生徒全員が参加しました。

修学旅行

2年生が11月9日(火)~12日(金)まで3泊4日の日程で沖縄へ修学旅行に行ってきました。



部活動の報告



カヌー部

「美ら島沖縄総体」(沖縄インターハイ)

カヌースプリントカヤックフォア (500m)	準優勝	3年 平野 健吾 君・2年 嶋貫 勝視 君・ 2年 細口 竜之介 君・2年 小國 健人 君
カヌースプリントカヤックペア (500m)	7位	3年 平野 健吾 君・2年 小國 健人 君
カヌースプリントカヤックフォア (200m)	7位	3年 平野 健吾 君・2年 嶋貫 勝視 君・ 2年 細口 竜之介 君・2年 小國 健人 君

「ゆめ半島千葉国体」(第65回国民体育大会)

カヌースプリントカナディアンシングル (500m)	準決勝進出	2年 板垣 雄也 君
カヌースプリントカナディアンペア (500m・200m)	準決勝進出	3年 畑中 勇輝 君・3年 吉岡 政博 君
カヌーワイルドウォーター競技	20位	本校体育科教諭 小西 鉄也 (本校卒業生)

「近畿高等学校カヌー新人選手権大会」(琵琶湖漕艇場)

カヤックシングル (1000m)	2位	2年 小國 健人 君
カヤックシングル (500m・1000m)	5位	1年 畑中 博貴 君 「新人王」受賞

陸上部

第65回 京都陸上競技選手権(西京極陸上競技場) 砲丸投げ	6位	3年 上地 隼 君 (近畿大会出場)
第45回 両丹ジュニア陸上競技対校選手権 女子	総合3位	

平成22年度 同窓会 理事名簿

会長	岡	眞子
副会長	岡田	修
副会長	岡田	高夫
理事	一 区	桜井 武
理事	一 区	中島 毅
理事	二 区	和田 喜孝
理事	二 区	森垣 敦雄 (監事)
理事	川 上	白岩 美芳
理事	川 上	松田 澄子
理事	海 部	小国幸太郎
理事	海 部	松田 玲子
理事	佐濃南	奥田 幸男
理事	佐濃南	深田 功二 (会報)
理事	佐濃北	北尻 幸彦
理事	佐濃北	吉岡富貴子
理事	田 村	中村 晴司
理事	田 村	田中 正直
理事	神 野	平林 昌英 (監事)
理事	神 野	黒田 啓正
理事	湊	藤野 均
理事	湊	岸本 透
理事	旧中郡	吉岡 和行
理事	旧中郡	安見 義和
理事	旧竹野郡	吉岡 義隆
理事	旧竹野郡	山口 一彦
理事	旧竹野郡	田家 一雄
理事	旧竹野郡	長田 征男
理事	与謝宮津	田崎 晴輝
理事	与謝宮津	久保 金一
理事	但 馬	高田 爽司
理事	但 馬	古橋 省三
顧問	校 長	小田 滋夫
顧問	副校長	増馬 宗男
顧問	事務長	岡田 佳之

平成22年度 基本金収支予算書

収入				
科 目	前年度決算額	本年度予算額	増 減	摘 要
繰 越 金	3,295,312	2,581,360	△ 713,952	
会 費	38,000	41,500	3,500	卒業生500円×83名
雑 収 入	8,698	688	△ 8,010	利息
合 計	3,342,010	2,623,548	△ 718,462	

支出				
科 目	前年度決算額	本年度予算額	増 減	摘 要
繰 出 金	600,000	500,000	△ 100,000	通常費に繰り出し
教育充実支援金	160,650	170,000	9,350	久美高だより
合 計	760,650	670,000	△ 90,650	

平成22年度 通常費収支予算書

収入				
科 目	前年度決算額	本年度予算額	増 減	摘 要
繰 越 金	151,749	314,876	163,127	
繰 入 金	600,000	500,000	△ 100,000	基本金より繰り入れ
会 費	304,000	332,000	28,000	卒業生4,000円×83名
雑 収 入	25,125	1,000	△ 24,125	預金利息
会 報 賛 助 金	656,760	550,000	△ 106,760	
合 計	1,737,634	1,697,876	△ 39,758	

支出				
科 目	前年度決算額	本年度予算額	増 減	摘 要
会 議 費	0	5,000	5,000	理事会・事務局会議
事 業 費	1,106,713	1,320,000	213,287	
会 報 発 行	911,114	1,100,000	188,886	会報発行に係る全経費
卒業生記念品	49,119	60,000	10,881	卒業証書ブック
定例地区委員会	6,250	10,000	3,750	定例地区委員会
講 演 会	123,065	130,000	6,935	O B等による講演会
支部活性化対策	17,165	20,000	2,835	各支部総会
支 部 等 助 成 費	70,000	80,000	10,000	各支部総会
旅 行 費	124,260	130,000	5,740	各支部総会・他
通 信 運 搬 費	25,900	30,000	4,100	理事会・地区委員会案内他
事 務 費	5,360	10,000	4,640	用紙・他
報 償 費	75,000	90,000	15,000	支部総会祝金、カヌー部等激励、学年同窓会奨励金
雑 費	15,525	20,000	4,475	慶弔費
予 備 費	0	12,876	12,876	
合 計	1,422,758	1,697,876	275,118	

会報賛助金のお願い

この会報は、多くの会員様と母校、ふるさと相互の交流の場であり、互いの絆であるとの思いから発行を続けてきました。皆様のお力添えのもと続刊して参りましたが、発刊にかかわる経費の面で大変厳しく発行に困難をきたしているのが現状となっております。会員様には、この苦境を御理解いただき会報賛助金への御支援を宜しくお願い申し上げます。

1口 2,000円

御送金は、同封の郵便振込用紙（振込手数料は一切不要）、又は下記口座を御利用下さい。

会報賛助金の振り込み先

郵便振替 **久美浜高校同窓会(会報係)**
01020-6-37810

編集後記

今年も同窓会報を発行することができました。発行にしましては、たくさんの方に御協力・御支援をいただきありがとうございます。関係の皆様方に感謝申し上げます。

今回、久美浜町内にお住まいの方へは、より確実にお手元に届くように新聞折り込みから各戸への郵送に変更させていただきます。

また、名簿発行の準備中でもあり、皆様の御協力をお願いいたします。

同窓会員様の近況やクラス会・同窓会などの御報告をメール・ハガキ・写真などでお寄せ下さい。お待ちしております。

今後ともより良い会報づくりに努めていきたいと考えておりますので、よろしく御願いします。

